

菊池市における新たな交通体系 —「べんりカー」・「あいのりタクシー」の導入—

熊本県菊池市企画振興課

○ 菊池市の概要

熊本県菊池市は、熊本県の北部に位置する面積約 280km²、人口約 52,000 人の自治体です。市街地には湯量豊富な「菊池温泉」が、市の北東部には紅葉の名所「菊池溪谷」があり、市の名前をご存じの方もいらっしゃるかもしれません。

市街地の北側は中山間・山間地域になっています。市街地から山間地域は、手のひらを広げたように放射状に尾根が広がっており、その谷あいには集落が点在しています。

○ 「べんりカー」・「あいのりタクシー」の導入のきっかけ

かつて菊池市では、市内の交通体系に関し、以下の2点が課題となっていました。

1点目は市街地内における交通網の整備です。市内では、市街地に直線的に進入してくる路線バスが放射状に運行していましたが、市街地を巡る環状線はなく、不便な状態が続いていました。

2点目は郊外への路線バスの見直しです。市街地から中山間・山間地域へ向けた郊外行きの路線バスは乗車人数が少なく、市は年間約 2,600 万円の補助金を支出していましたが、当時の行政や地域住民には問題意識がありませんでした。

菊池市では、このような課題を解決するために、平成 13 年度より市内の交通体系の整備に着手し、平成 14 年度には市街地での100円巡回バス「べんりカー」の試験運行を行い、市民から高い評価を得ました。

べんりカーの運行開始後、中山間・山間地域の交通サービスを検討する際に、べんりカーの運行形態を当該地域に広げることについて、バスでは運行経費が高くつくことや、市街地のお客をバスに奪われたタクシー事業者との調整が難航しました。しかしながら、度重なる調整の結果、路線バスによる運行ではなく、新たな運行形態としてタクシーを活用することとなり、平成 15 年度には中山間・山間地域のべんりカーとして「あいのりタクシー」の試験運行を行いました。

試験運行の結果、利用実績や波及効果、市の財政負担等の面で大変優れていたことから、平成 16 年度より「べんりカー」及び「あいのりタクシー」の本格的な運行を開始しました。以下に、「あいのりタクシー」の概要についてご紹介します。

○ 「あいのりタクシー」の概要

「あいのりタクシー」は、市街地と中山間・山間地域を結ぶ予約制の乗合タクシーです。住民が事前に予約センターに申し込むことで、自宅から目的地の玄関まで、ドア to ドアで移動することができます。運行は隔日で、1日最大3往復運行されています。

利用料金は、エリア別に定められており、一人



「あいのりタクシー」利用のひとこま

平成20年4月改正

		
月・水・金 (水源地域線)	運行日	火・木・土 (龍門地域線)
水源、追間・河原(一部)地域 市街地	利用できる地区と片道1人あたりの利用料金	龍門、追間(一部)地域 市街地
戸倉水・大井 旗地・下平尾・岡原 平野・中尾 上水原・佐野・手島々石 日田・楢木平・中瀬・川島	200円	西追間 家尾間・上久保 太田
深高屋・藤倉 上岡倉・下岡倉 加賀・野瀬・下野瀬	300円	七坪・下古岡 中之瀬・市野瀬・市野瀬地下 野原田・野原
原本村・堂塚・榎水・風竹・黒仁田 道の谷・榎原・長六 湯下・香木・早山	400円	旗野・小幡野・迫木 下高野・上高野・虎口 市野々・中片
松ヶ池・生井・古川・水の駅・立門 白生野・戸城・渡行・伊藤田 本庄水・尾・尾井原・永山 伊野・水野・池・城・和生 新野高谷・ツルクニビル 別荘地等	500円	龍尾崎・真原・中山 旗原・尾津 六川
	600円	
	900円 1,200円	
(0968) 26-5011	予約の電話番号	(0968) 26-5022
予約をしていないと、乗用できません！		

市街地行きの出発時刻		
便	出発時刻	予約時間(下記の予約時間以外は受付できません。)
①	8:00 ~ 8:30	前日18:00~ 左記、前日予約のみ
②	10:00 ~ 10:30	前日18:00まで 当日7:00~当日8:00まで
③	12:00 ~ 12:30	前日18:00まで 当日7:00~当日10:00まで

真密の地区の市街地内であれば、どこでも降りることができます。

郊外地域行きの出発時刻		
便	出発時刻	予約時間(下記の予約時間以外は受付できません。)
①	10:30~10:40	前日18:00~ 当日7:00~当日9:00まで
②	12:30~12:40	前日19:00まで 当日7:00~当日11:00まで
③	15:00~15:10	前日19:00まで ただし、市街地行き12:00の便の乗降では予約ができません。

真密の地区にある市の指定する55分前乗り場であれば、乗ることができます。

「あいのりタクシー」の利用案内

利便性を向上させたばかりでなく、路線バスにかかっていた年間約2,600万円の市の財政負担を、年間約800万円へ大幅に削減することに成功しました。

市としては、今後とも新たな発想で、より住民のニーズに合った地域のモビリティを導入し、事業者との調整・連携のもと、市の「地域の実情に見合った、身の丈の交通サービス」を提供していきたいと考えています。

当たり200円から100円刻みで決められており、市内なら最大で600円となっています。市街地から最も離れたエリアでは、これまで片道4,000円以上必要であったタクシー料金が600円になり、かつ市街地内には100円で運行されている「べんりカー」があることから、路線バスや従来のタクシー利用と比べると、安価な料金で市内の主要な施設に行くことができるようになっています。

運行エリアは、平成16年度の試験運行時から順次拡大され、現在では、旧菊池市の中山間・山間地域と市街地、旧泗水(しすい)町の泗水西部・泗水東部地域とまちなか地域を対象に運行されています。

○ 「あいのりタクシー」の効果

このように利便性の高い「あいのりタクシー」は、高齢化が進み坂道の多い中山間・山間地域の方から大変喜ばれており、1日当たりの利用者数は、毎年10%ずつ増加しています。

また、「あいのりタクシー」の運行は、住民の



「あいのりタクシー」利用者3万人突破記念
(平成21年2月)